

兵庫県版コミュニティ・スクール（地域連携強化校）試行について

県立宝塚高等学校 校長 森井 裕史

このたび本校は兵庫県版コミュニティ・スクール試行校に指定され、地域の皆様と学校が連携しながら、さまざまな形での教育を推進していくこととなりました。もちろんこれまでも「ゆずり葉花壇」や清掃等、様々な場面で地域の皆様のお力をいただきながら、本校教育を行なって参りました。

現在の兵庫県の高等学校の学区は、以前の学区とは異なり、大変広いエリアから自分がやりたいことができる高校を選ぶことができるようになりました。本校も、以前の「宝塚学区」の頃とは異なり、南は尼崎や西宮、北は篠山や氷上からも通うことが可能になっています。その中で本校を選んで登校している生徒は、決して宝塚市内の中学校を卒業したものばかりではなくなりました。せっかく宝塚の高校で学ぶ生徒に、宝塚の事をよく知って卒業してもらいたいと思っています。そのためにゆずり葉コミュニティの方々にもお世話になることができれば、と考えています。

本校では宝塚市をこの事業でいう「地域」として捉え、具体的な取組内容につきましては、地域の方々を含む「学校運営協議会」で決定していくことになりませんが、現在は以下のような内容に取り組みたいと考えております。

- ・地元の自治会とのつながりの中でできること
- ・市内小中学校とのつながりの中でできること
- ・地元企業や市役所とのつながりの中でできること
- ・総合的な探究の時間を使った「宝塚学」探究

宝塚の〇〇を調べよう・・・宝塚の自然、阪神間モダニズムと宝塚、なぜ飛び込み競技が強い？など

宝塚の売りはこれだ・・・乙女餅、炭酸せんべい、歌劇など

- ・地元の方々との考える「どうすればもっと学校をPRできる？」 など

もちろん、今年度中に全部ができるとは考えておりません。ですが、少しずつでも皆様からいろいろとお知恵をいただき、生徒の幅広い学びを実現しながら、地域で生きることを考える人づくりを実現したいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。